

分散した細胞や3D培養細胞、微小サンプルから
スライド標本を作製する為の試薬です。

iPGell[®]/*Smear Gell*[®]

細胞浮遊液ゼリー化試薬

免疫染色、ISH*、一般染色 (HE・ギムザ)、
その他各種染色に使用できます!!

*ISHはiPGellのみ適応可能です。

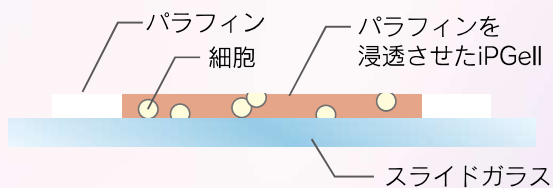
iPGell[®]

分散した細胞や3D培養細胞などを
ブロック (パラフィン/既固定凍結) にして
切片が作製できます。

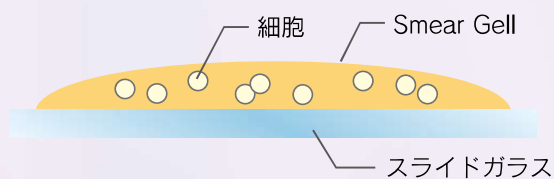


Smear Gell[®]

少量の細胞や非接着性のサンプルを
そのままスライド上に貼り付けられます。



細胞浮遊液をiPGellでゼリー状に固め、
作製した切片の模式図 (例 パラフィン切片)



Smear Gellで作製した標本の模式図

iPGell[®]とは

細胞・細胞塊を
切片にして
断面で観察

細胞を培地ごと、非加熱かつ迅速に“生きたまま”ゼリー状に固めるキットです。
そのまま固定液に浸漬することができ、組織と同じ感覚でブロックおよび切片が作製できます。
パラフィンブロックおよび既固定凍結ブロックの作製に対応しています。

iPGellなら簡単操作で細胞をゼリー状に固めることができます。

A液、B液を
混ぜるだけ

細胞浮遊液

① A液を添加

② B液を添加

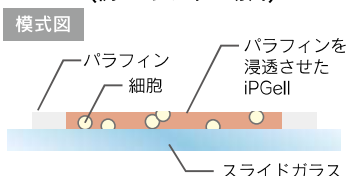
1チューブで
固定まで可能

③ 固定液を添加

直ちに
ゼリー状に
固まります。

④ ブロック・
切片作製

作製した切片の横断面
(例 パラフィン切片)



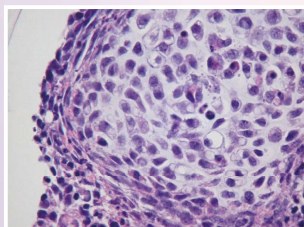
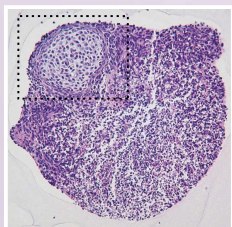
※iPGellの試薬を使った操作はゼリー状に固め、固定するところまでになります。
以降の操作は、一般組織と同様に定法に従ってください。

使用方法の詳細は、弊社Webサイトより動画をご覧ください。 <https://genostaff.com/>

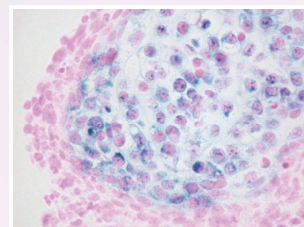
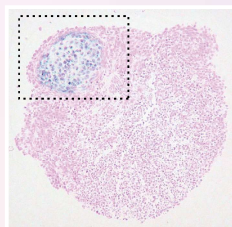
iPGell[®]を用いて作製した切片の解析例

解析例 1 マウス細胞由来の胚様体を用いた解析

(HE染色：形態観察)



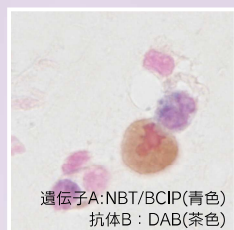
(In situ Hybridization：Type II collagen)



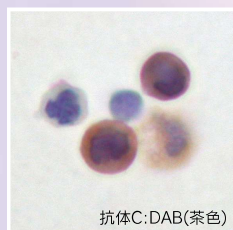
*組織切片を作製し、断面を観察することによって、肺様体の一部に軟骨組織が誘導されたことが確認されました。

解析例 3 マウス腹腔内浸潤細胞を用いた発現解析

(ISH&IHC二重染色：パラフィン切片)

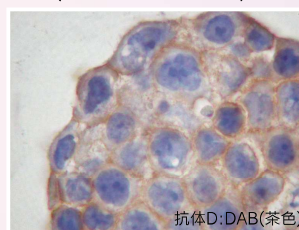


(IHC：既固定凍結切片)



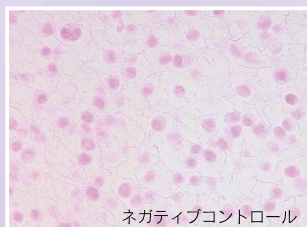
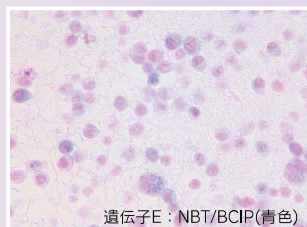
解析例 4 3D培養細胞を用いた発現解析

(IHC：既固定凍結切片)

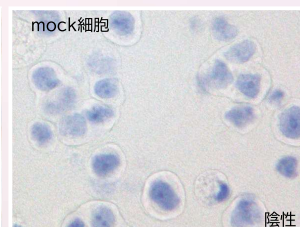
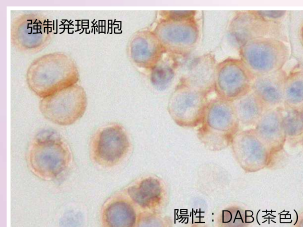


解析例 5 培養細胞を用いた発現解析

(In situ Hybridization：パラフィン切片)



(IHC：抗体F)



*同一のサンプルから複数の切片が作製可能ですので、様々な解析にご利用いただけます。また、抗体スクリーニング等にも最適です。

細胞・細胞塊を
そのまま
すぐに観察

Smear Gell[®] とは

サイトスピンなどを用いず、細胞を簡単にスライドに貼り付けて標本が作製できる試薬です。
スライド上で試薬を混合するとゼリー化し、細胞をそのままの形で貼り付けることができます。
極少量の細胞や非接着性のサンプルからも、スライド標本が手軽に作製できますので、
培養中の細胞やセルソーターで分取した細胞の構造解析や免疫染色などにご活用下さい。

Smear Gellの使用方法はとても簡単！ 数分で標本が完成します。

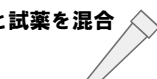
使用
方法

細胞浮遊液と試薬を混合し、スライドに塗布します。
↓
スライド上で細胞浮遊液がゼリー状に固まり、貼り付きます。

細胞浮遊液



細胞浮遊液と試薬を混合



塗り広げてゼリー状に固める。

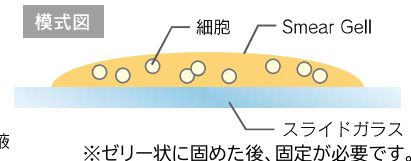


細胞と
Smear Gellの混合液

作製した標本の横断面

細胞は立体的な形態のまま、
ゼリー状に包まれた状態で
スライドガラスに貼り付きます。

模式図

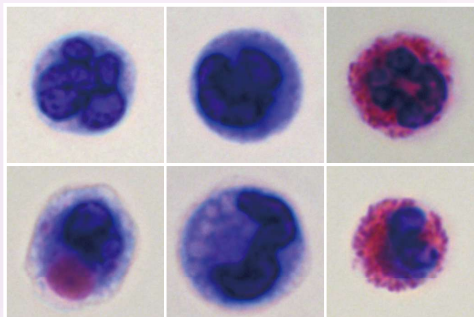


※ゼリー状に固めた後、固定が必要です。

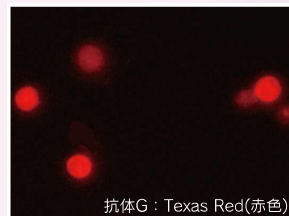
使用方法の詳細は、弊社Webサイトより動画をご覧ください。 <https://genostaff.com/>

Smear Gell[®] を用いて作製した標本の解析例

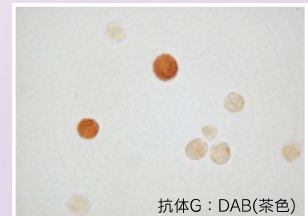
解析例 1 ラット腹腔内浸潤細胞の形態観察
(ライト・ギムザ染色)



解析例 2 ラット腹腔内浸潤細胞を用いた発現解析
(免疫細胞化学染色)

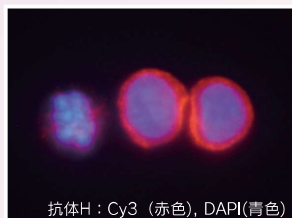


抗体G : Texas Red(赤色)



抗体G : DAB(茶色)

解析例 3 培養細胞を用いた発現解析
(免疫細胞化学染色)



抗体H : Cy3 (赤色), DAPI(青色)

解析例 4 スフェロイド培養細胞を用いた発現解析
(免疫細胞化学染色)

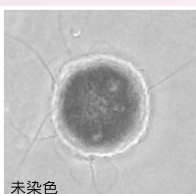


抗体J : DAB (茶色)

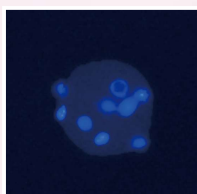
*スフェロイド培養細胞など立体構造を持つサンプルは、HE染色での観察に適さない場合があります。

細胞以外の微小サンプルにもご利用いただけます。(受精卵など)

受精卵



未染色



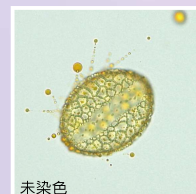
ヒメミズ



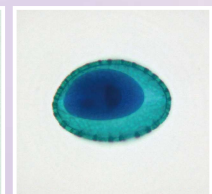
未染色



ユリ花粉



未染色



*細胞のほか、微小サンプルについても標本の作製が可能です。サンプルの直径は、100μmくらいを目安とし、それ以上の大きさのサンプルで作製する場合は、お問い合わせください。

iPGell®

製品名	製品番号	価格（税込）	キット構成
iPGell	PG20-1	¥ 49,500 (20テスト)	A液 B液 サンプルチューブ

Smear Gell®

製品名	製品番号	価格（税込）	キット構成
Smear Gell	SG-01	¥ 22,000 (40スライド用)	1液 2液 スライドガラス

高品質なブロック・切片の作製および組織染色の受託サービス

**iPGell®で調製したサンプルについて、
当社でブロックおよび切片の作製、染色を受託いたします。**

当社がこれまで培ってきた組織切片作製および染色の技術と iPGell®を組み合わせることにより、目的のタンパク質やRNAを高感度に検出可能です。

受託サービスの内容

- パラフィンブロックおよび既固定凍結ブロックの作製
- パラフィン切片および既固定凍結切片の作製 ※パラフィン切片の場合のみ連続切片の作製が可能です。
- In situ* Hybridization
- 免疫組織化学染色
- 各種特殊染色

お問い合わせ先

E-mail : support@rorzels-genostaff.com


GenoStaff

ジェノスタッフ株式会社

〒113-0032 東京都文京区弥生2-5-8 GSビル

TEL:03-5615-8857 FAX:03-5615-8858

E-mail:support@rorzels-genostaff.com

本製品の使用方法の詳細については、弊社Webサイトより動画をご覧ください。

<https://genostaff.com/>